

(株)学習研究社 本社ビル



所在地：東京都品川区西五反田2-11-8
 建築面積：1,079.70㎡
 延床面積：27,839.35㎡
 構造・規模：鉄骨造 地下3階、地上24階建
 設計・監理：清水建設(株)
 施工：建築/清水建設(株)
 電気/(株)きんでん(施工協力)
 完成：平成20年7月

新本社ビルが完成し東京都内3箇所に分散していた営業拠点を1箇所に統合。
 基準階は600グリッドシステム天井用器具を採用し、制御機器との連動で省エネと快適性を両立させた、
 オフィスアメニティを実現しています。

「教育」を基軸に多岐にわたる出版事業を展開。 品川区初の私立認定こども園を開設

「教育」を基軸とする雑誌・書籍を原点に、エンターテインメントや趣味・教養分野など、ライフスタイルの変化に応じて多岐にわたる出版事業を展開してきた学習研究社。東京都内3箇所に分散していた営業拠点を1箇所に統合するため、東京・五反田エリアに地上24階建ての新本社ビルを完成させました。ユニットカーテンウォール構造の超高層ビルには、出版事業、教材関連事業、教室事業、マルチメディア・IT関連事業、福祉関連事業といった各事業部を集約させています。地階には同社が運営をする品川区初の私立認定こども園を開設。本園の開設により、地域の子育て支援や待機児童の解消に貢献し、教育・保育の展開を目指しています。

グリッドシステム天井用器具とセンサによって、 省エネと快適性を両立させたオフィス空間を創出

基準階となるオフィスフロアはグリッドシステム天井を採用し、Tバーのグリッド寸法は標準の600mm×600mmを採用。その設備設計に対応した600mm用ネオグリッドスクエアタイプシステム天井用器具を基本照明として取り入れています。FHP45W2灯用白色バップル付器具を1800ピッチで等間隔に配置し、基準階のオフィス空間を形成。100%全点灯時で平均水平面照度を約1100lxに設定し十分な明るさが得られる照明環境を創り出しています。また、照明制御機能としてエリアごとに人感センサ十明るさセンサを設け、昼間時では明るさセンサにより平均水平面照度750lx程度にセンサ制御し、さらに人感センサによってエリア区分内に人が不在になった場合に消灯できるよう、キメ細かな設計で大幅な省エネ化を実現しています。

上層階は役員室をはじめ応接室や役員会議室などで構成され、また中会議室3室、小会議室5室を備えています。そのフロアにも基準階と同様にグリッドシステム天井用器具が採用され、パーティションで区切られた各室でも均斉度の整った照明空間を創り出しています。

地階は子育て支援施設である「こども園」を配置し、清潔感漂う白木を配した空間になっています。傾斜天井に蛍光灯ダウンライトを点在させたユニークな照明配置により、子供たちが遊ぶ空間を演出しています。



中会議室 上層階には中会議室が3室、小会議室が5室備えられている。ネオグリッドシステム天井用器具によって機能的な空間を創り出している



食堂フロア 東京湾を眺望して食事が楽しめる社員食堂のフロアは、FHT24W1灯用蛍光灯ダウンライトと間接照明によって明るいラウンジとなっている



子育て支援施設 子育て支援施設「こども園」では、蛍光灯ダウンライトを点在させて子供たちが遊ぶユニークな空間に仕上げる



小会議室 ネオグリッドシステム天井用器具を4台配置した小会議室の内部



オフィス基準階 600mm用ネオグリッドスクエアタイプシステム天井用器具を基本照明として採用。FHP45W2灯用白色バツフル付器具を1800ピッチで等間隔に配置しオフィス空間を形成



オフィス基準階 照明制御機能として人感センサ+明るさセンサを設けて不在時にはエリア区分で消灯。省エネと快適性の両立を図る



2階打合せコーナー エントランス部は2層吹抜け構造となっている、2階部分のエリアに設けられた打合せコーナー。地味明かりに蛍光灯ダウンライトを採用している



明るさセンサと組合せた器具アップ



人感センサと組合せた器具アップ

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
基準階、役員フロア、会議室フロアほか	ネオグリッドスクエアシステム天井用器具	FHM-52070-PD9	3966	45WHfユーライン蛍光ランプ×2灯 (FHP45EN<昼白色>)
食堂	蛍光灯ダウンライト	FHD-41013	104	24Wユーライン蛍光ランプ×1灯 (FHT24EX-N<昼白色>)
	蛍光灯ダウンライト	FHD-41007-PA9	42	32Wユーライン蛍光ランプ×1灯 (FHT32EX-N<昼白色>)